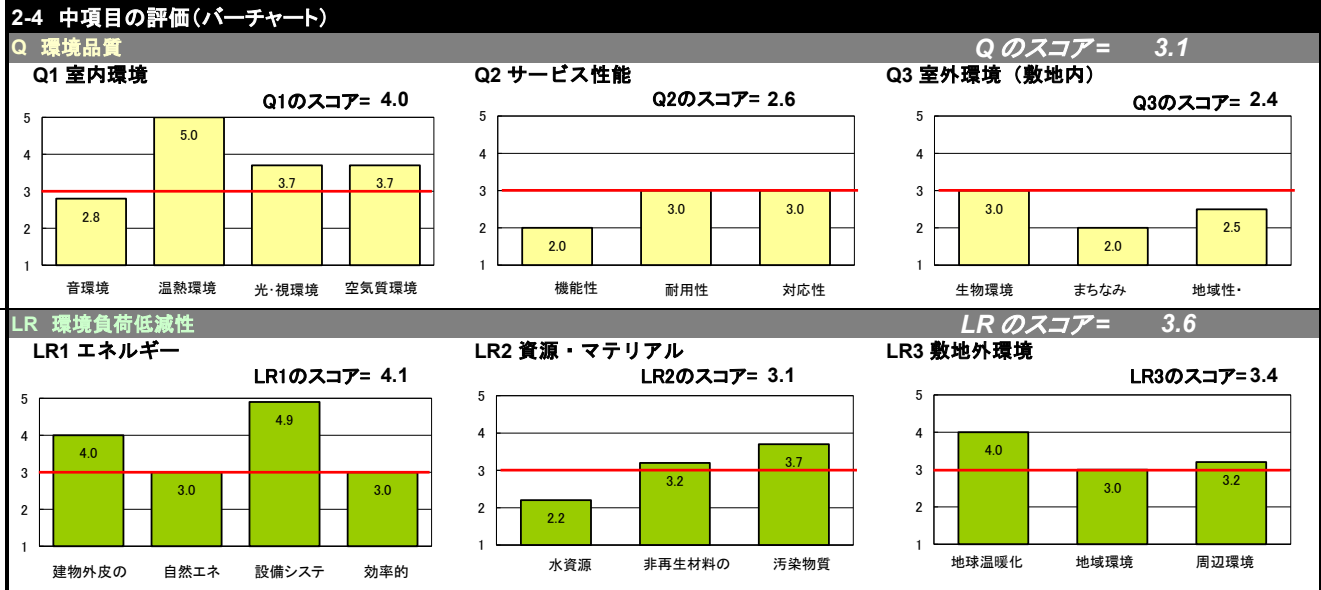
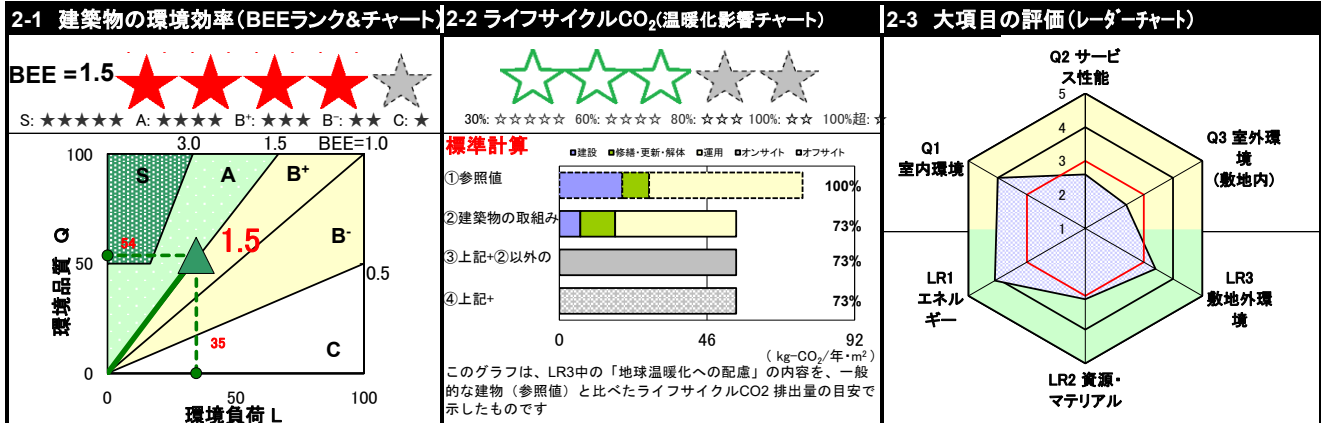




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営千丸台団地公営住宅新築工事(1期-第1工区)	階数	地上4F、地下1F
建設地	横浜市保土ヶ谷区新井町350-1外	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居地域(市街化区域)	平均居住人員	176 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2028年2月 予定	評価の実施日	2025年12月11日
敷地面積	3,340 m ²	作成者	土肥 文幸
建築面積	1,073 m ²	確認日	2025年12月11日
延床面積	3,630 m ²	確認者	土肥 文幸



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・CASBEE横浜2025年度版による評価である。 ・外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減に努めている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・建築材料は、JIS・JAS規格のF★★★★をほぼ全面に採用している。	・品確法等級3相当である。 ・階高2.9m以上を確保している。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。	・節水器具と省水型機器を採用。 ・LGSを採用することで、躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。	・ライフサイクルCO ₂ 排出率75%としている。 ・広告物照明はない。



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

受付日 2025年12月15日

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称

県営千丸台団地公営住宅新築工事(1期-第1工区)

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

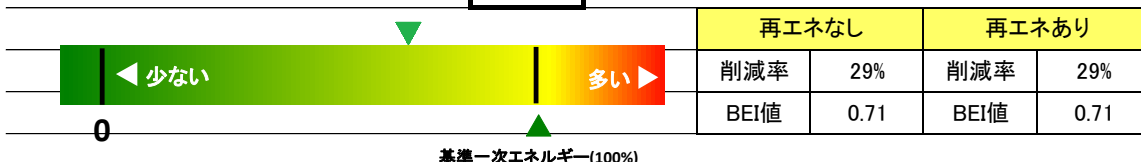
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

4

■省エネルギー性能

この建物の設計一次エネルギー消費量 29 %削減



基準一次エネルギー(100%)

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示基準「断熱等性能等級」における等級5以上である。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

4

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級5 (相当) ※複数の等級が混在する場合は最も低い等級とする。

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯劣化対策等級3相当である。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

蓄電池

エネルギーマネジメントシステム導入

— — —



スコアシート		重点項目		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質				-	-	-	-	3.1
Q1 室内環境				-	0.40	-	-	4.0
1 音環境				-	0.15	2.8	1.00	2.8
1.1 室内騒音レベル				-	-	3.0	0.50	-
1.2 遮音				-	-	2.6	0.50	-
1 開口部遮音性能				-	-	3.0	0.30	-
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				-	-	-	-	-
2 温熱環境				-	0.35	5.0	1.00	5.0
2.1 室温制御				-	-	5.0	1.00	-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心		⑨温熱環境 ⑤外皮性能	-	-	5.0	1.00	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-	-
3 光・視環境				-	0.25	3.7	1.00	3.7
3.1 昼光利用				-	-	3.5	0.50	-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	4.0	0.50	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	3.0	0.30	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策				-	-	4.0	0.50	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	4.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-
4 空気質環境				-	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策				-	-	4.0	0.63	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	4.0	1.00	-
4.2 換気				-	-	3.3	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	3.0	0.33	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	4.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	3.0	0.33	-
4.3 運用管理				-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.6
1 機能性				2.2	0.40	2.0	1.00	2.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	2.0	0.60	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	2.0	1.00	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	3.2	0.50	-

	1	階高のゆとり		-	-	4.0	0.60	-
	2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	-
	3.2	荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	-

	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	-
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	-
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	-
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	-
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	-
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	-
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1	生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.50	-	-	-
	3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制		4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		4.9	0.50	-	-	4.9
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-
	集合住宅の評価		4.9	1.00	-	-	-
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	-
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	-
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	-
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1	水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1	節水	1.0	0.40	-	-	-
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	-
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-	-
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-
2	非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60	-	-	3.2
	2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10	-	-	-
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-	-
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	-
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	-
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.10	-	-	-
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	4.0	0.20	-	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	-	-
	3.2	フロン・ハロンの回避	4.0	0.70	-	-	-
	1	消火剤	-	-	-	-	-
	2	発泡剤(断熱材等)	4.0	1.00	-	-	-
	3	冷媒	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮		4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	-
	2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.50	-	-	-
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	-
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-
	3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-
	4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	-	-	-	-	-
	1	騒音	-	-	-	-	-
	2	振動	-	-	-	-	-
	3	悪臭	-	-	-	-	-
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制	3.0	0.67	-	-	-
	1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	-
	2	砂塵の抑制	1.0	-	-	-	-
	3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	-
	3.3	光害の抑制	3.7	0.33	-	-	-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-	-	-
	2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目			-	-	-	-	-
<事務所用途>			-	-	-	-	-
	知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-
<住宅用途>			-	-	-	-	-
健康と安心			-	-	-	-	-
	1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-
	2	適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-
	3	結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-
	4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	3.0	-	-